

# 目指す学校像について

諏訪への愛着、  
心づくり、自己  
肯定感を高め  
る。多様性を認  
めあえる。

自分自身を  
認める、先  
生自身も認  
める、

諏訪市の方  
針がベース  
になる

人間関係、  
地域関係に  
落とし込む

変化点、少子  
化、AI、先生の  
数が減る。世界  
に目を向けず。

諏訪絵の愛着、  
日本への愛着、  
多様性、学力つ  
ける

ふるさと、、学  
びあい、成長、  
自己肯定感、学  
力

# 学校の特色について

どの子に  
とっても学  
びやすい学  
校

できるだけ多く  
の子が学校で楽  
しく過ごせる。

インクルー  
シブ教育を  
徹底的に導  
入する。

不登校対応  
を徹底的に  
特化する。

自分たちで考え  
たことが実現。  
自分でやりたい  
ことができると  
イキイキでき  
る。

みんながい  
きいきとし  
た学校

中洲四賀地区は歴史や  
文化がしっかりしてい  
る。地域の方とも繋が  
り、子供たちも生き生  
きとしてそれらを学ん  
でいる。

生徒も楽し  
むために自  
分で考え  
る。

風樹文庫、歴  
史、文化を感じ  
られる素敵なも  
の。

南中はかりんで  
地域の人から学  
んでいる。柔軟  
な考えを出し、  
大人の考えと融  
合している。

60代70代の健康な層の  
方がかなりいる。この  
ような方たちと学校が  
うまくリンクして地域  
とのつながりが地域が  
活性化していく。

# 人間関係について

人間関係の問題が大きくなるケースがある。子供と保護者と人間関係を構築する。先生が心のゆとりをもって子供の特性を理解する。先生のゆとりをつくるには先生たちのリラックス場所、運動できるスペースもいい。

人数が多くなると問題が出る。スクールカウンセラーとスクールロイヤーが入ることでスムーズになる。

地域の方々が不登校の子を訪問して相談に乗ってくれる。QRコードを使って相談できる仕組みが良いと思う。

中州小学校ホットスペースを活用している（集団に入れない子）職員がフォローできる体制ができるとよい。子供の気持ちに寄り添いながら。

ワクワクタイムが楽しんで不登校の子も学校に来れるようになった。

# 地域連携について

コミュニ  
ティスクー  
ル

地域との関わり  
を繋げる人がい  
ないとわからない。

学校から地域へのア  
ピール、地域での取り  
組みをコーディネーター  
がうまく繋げられると  
よい。学校がやりたい  
ことと地域がやりたい  
ことをコーディネート  
する。

授業の中に地域  
との連携の授業  
を組み込む。区  
長に事前に協力  
依頼をする。

9年間で地域の  
愛情、コミュニ  
ケーション、イ  
ベント、歴史を  
学べる貴重な時  
間

小中一貫校は他  
地域と仲間にな  
ることができる。  
範囲を広げ  
るチャンスを広  
げられる。

中学生が地区と  
連携する。（お  
祭りに参加す  
る。他地区の子  
も役割を与え  
る。）

諏訪の特色は授業で組  
み込むと教える側も知  
らないといけない。歴  
史をつなく。（教える  
側も繋いでいく。）

避難訓練、通学  
路の見回りを地  
域の方がボラン  
ティアで手伝っ  
てくれる。

こちらから  
も地域に出  
ていくこと  
が大切。

読み聞かせボラ  
ンティアのシス  
テムを続けてい  
きたい。

住民主体の地域  
づくりを考えて  
いければ地域連  
携が進む。

通学路について

# 小中の格差について

フリースペースで地域の方が日ごろから入っていけるスペースが必要

四賀小...上履きで入れる中庭があるが様々な学年が集える空間がある。とても大事なスペース

異年齢だけでなく地域の方も集えるスペース

ベンチがカマどになる。

特性のある子は一方で持ち味のある得意なことがある。持ち味の発揮できる場所があるとよい。(鉄道に関心のある子ならジオラマのあるスペース)

先生がゆとりがあれば子供たちもイキイキできる。

フューチャーデザインを想像して考えていかなければならない。10年先では世の中変わっている。

保育園児が行って目がキラキラする場所、楽しい場所があるとよい。

小中異年齢になるのでプライバシーが保てる場所があるとよい。

# その他

3 地区で高齢者の手紙を書いたが反応がとてもよかった。学校と地区のやりとりができたことがよかった。

地域の方も  
来れる参観  
日